

計画段階評価について
山陰道（みすみ三隅～ながと長門）
第１回 説明資料

平成３０年２月２８日

国土交通省 中国地方整備局

1. 計画段階評価の検討の流れ	・ ・ ・ 2
2. 地域の概況	・ ・ ・ 6
3. 地域の状況と課題	・ ・ ・ 11
4. 道路の状況と課題	・ ・ ・ 17
5. 政策目標の設定	・ ・ ・ 20
6. 意見聴取方法	・ ・ ・ 27

1. 計画段階評価の検討の流れ

1-1. 中国地方の高規格幹線道路網

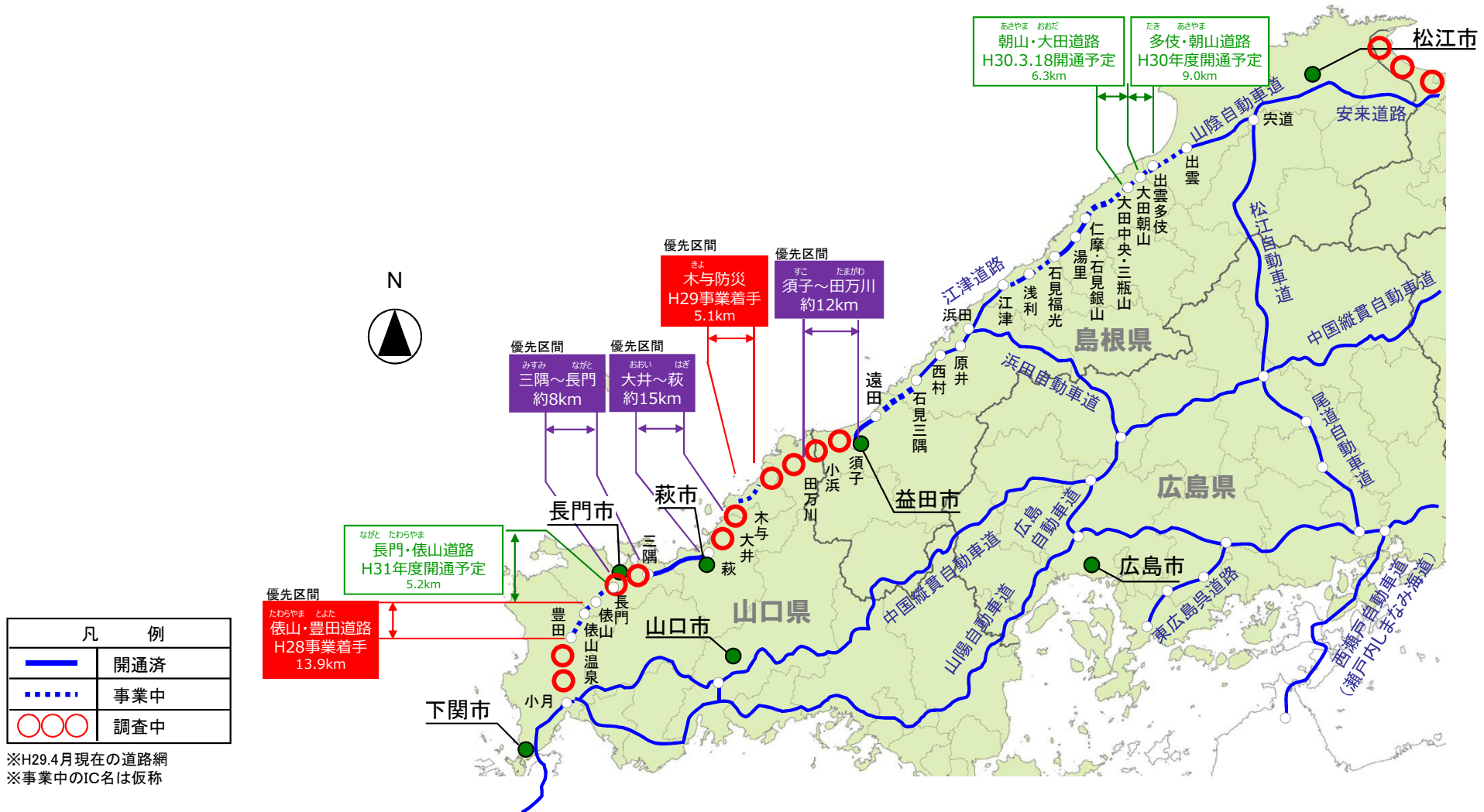
- 当該区間は、日本海国土軸の一部を担う山陰道(三隅~小月)の一部。
- 山口県長門市に位置し、日本海と山地に挟まれた自然豊かな地域である。

【広域図】



1-2. 山陰道（島根県、山口県区間）の進捗

- 山口県の俵山・豊田道路はH28新規事業化、木与防災はH29新規事業化。
- 大井～萩間、須子～田万川間はH29年8月に第2回中国地方小委員会を実施。



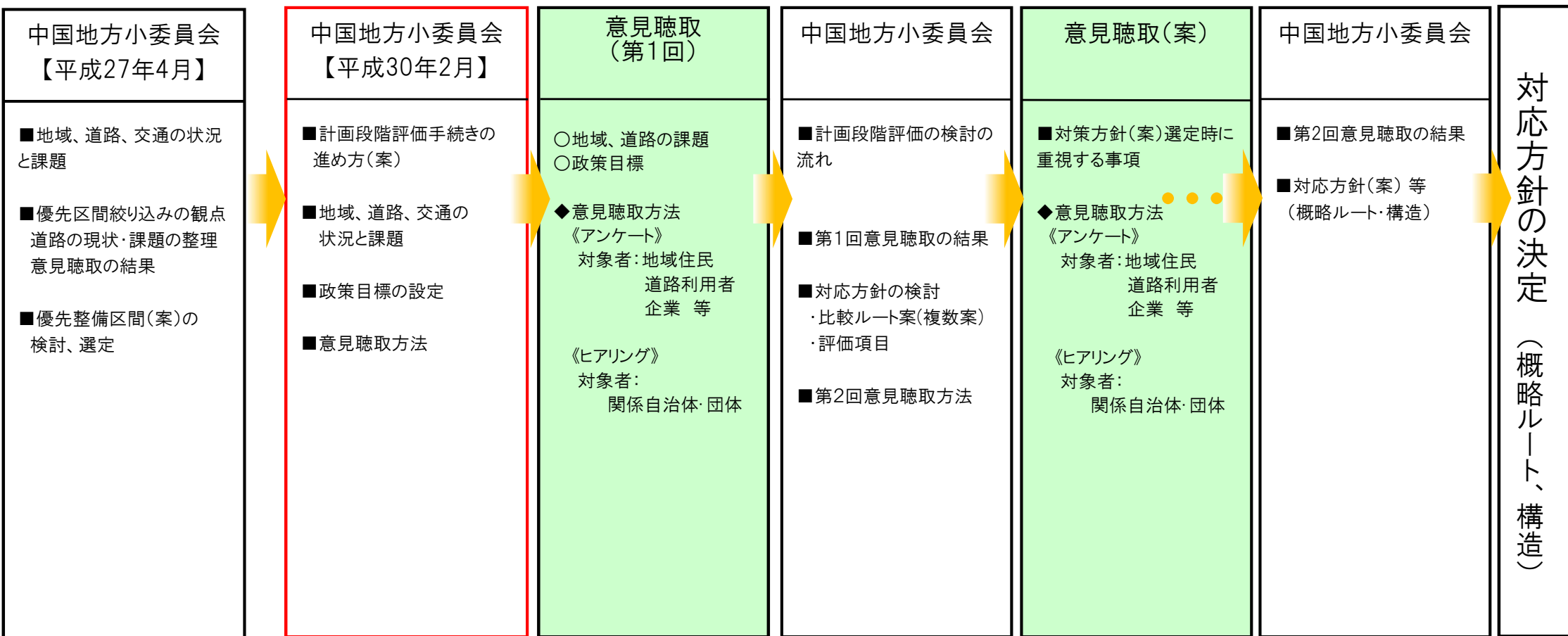
1-3. 計画段階評価の検討の流れ

■計画段階評価手続きの進め方、スケジュール(案)

地域住民や道路利用者の意見を聴きながら、道路計画〔概略ルート、構造等〕について検討を行う。

優先区間絞り込み

(今回)



※各段階で随時自治体と調整

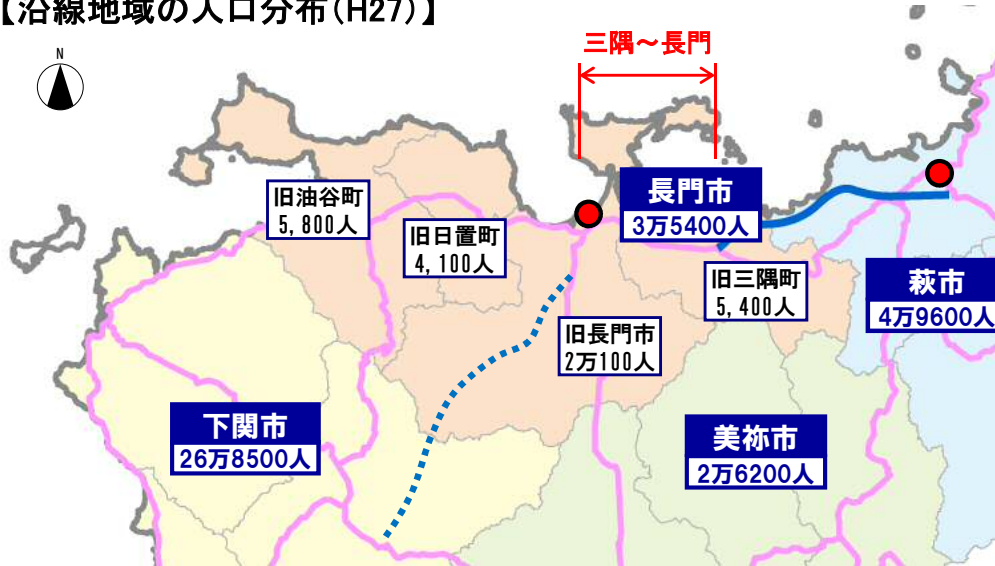
地方小委員会

2. 地域の概況

2-1. 人口推移

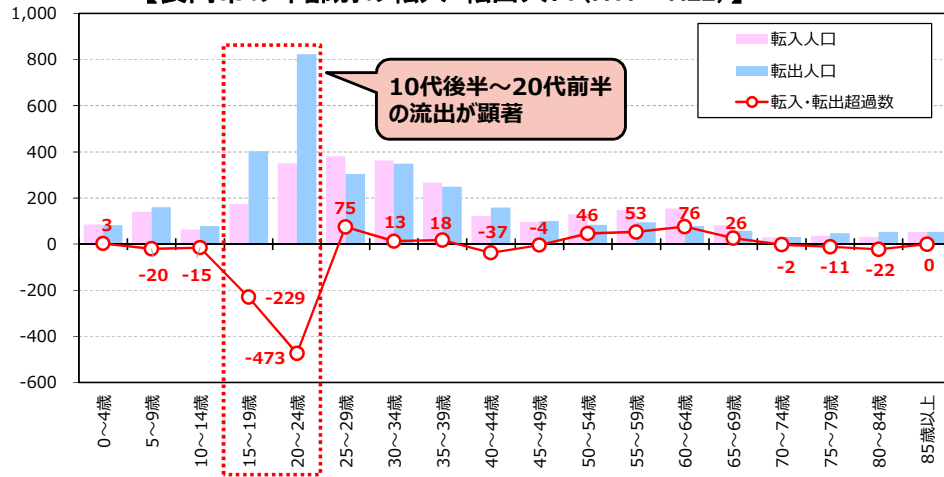
- 長門市の人口は約3.5万人であり、隣接する下関市は約27万人、萩市は約5万人である。
- 長門市は全国・山口県全体に比べ、人口減少が著しく、高齢化率も全国・県平均を大きく上回っている。
- 平成17年～平成22年における人口移動は、進学や就職による10代後半～20代前半の転出超過が顕著となっている。

【沿線地域の人口分布(H27)】



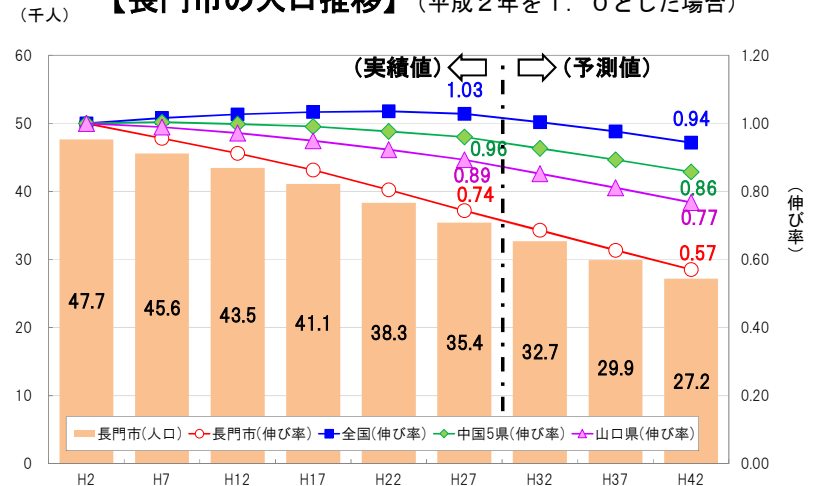
資料: H27国勢調査(総務省)

【長門市の年齢別の転入・転出人口(H17⇒H22)】



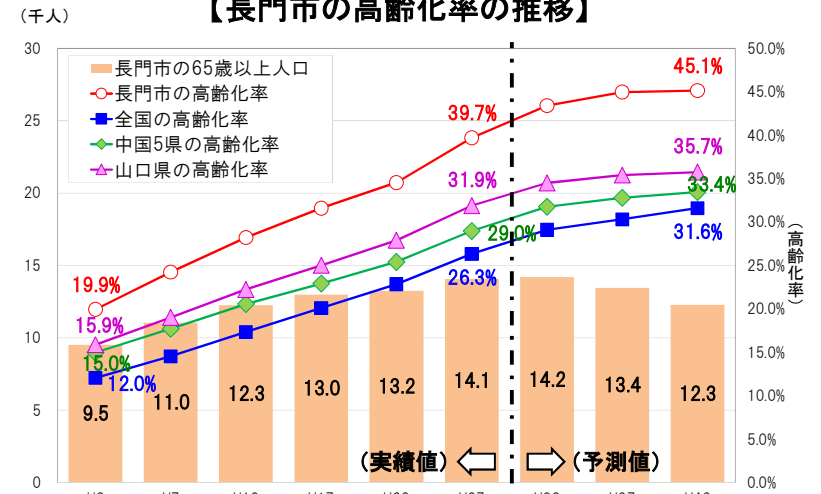
資料: H22国勢調査(移動人口の男女・年齢等集計)
H17国勢調査時の常驻地とH22国勢調査時の常驻地を比較

【長門市の人口推移】(平成2年を1.0とした場合)



資料:【実績値】H27国勢調査(総務省)、【予測値】日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計) 国立社会保障・人口問題研究所

【長門市の高齢化率の推移】



資料:【実績値】H27国勢調査(総務省)、【予測値】日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計) 国立社会保障・人口問題研究所

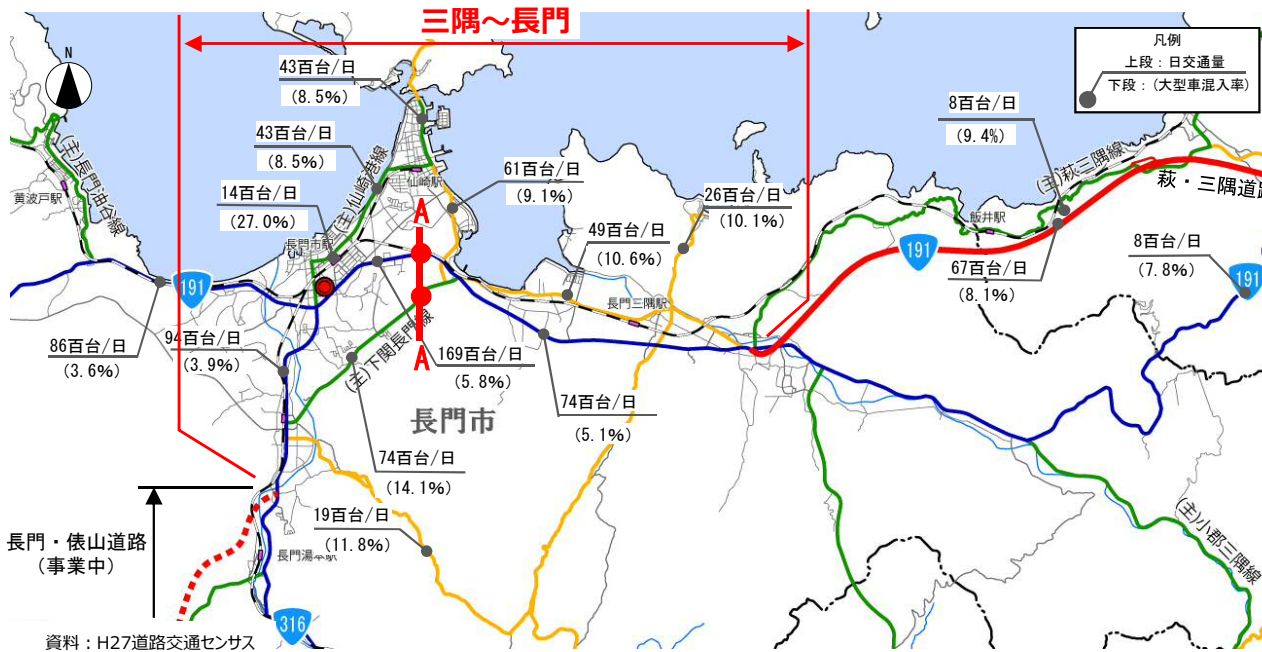
2-2. 自然環境と土地利用

- 当該区間(三隅～長門)は、三隅川、深川川の河口付近の限られた平地部以外は丘陵地が広がり、海岸線沿いは北長門海岸国定公園に指定。深川川の河口付近の平地に長門市街地が形成されている。
- 長門市街地の北側には海上アルプスで知られる名勝・青海島があり、その東西に仙崎湾、深川湾の2つの入り江が形成され、天然の良港となっている。西部には、棚田や海岸風景が美しい向津具半島が伸び、油谷湾を形成している。
- 当該区間の主要な道路である国道191号や(主)下関長門線は山沿いを通過しているため、土砂災害が発生しやすい地形的リスクを抱えている。



2-3. 交通特性

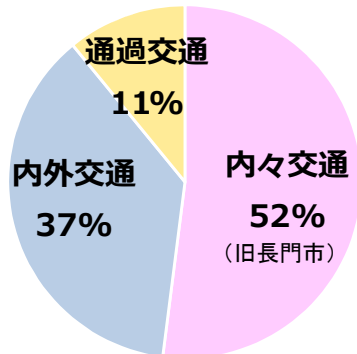
- 長門市街地内の幹線道路(国道191号、(主)下関長門線)では、旧長門市内を発着する交通が占める割合が37%、内々交通が52%を占め、通過交通が11%混在している。
- 長門市を中心とした通勤・通学に関しては、合併旧町から長門市中心部への結びつきが強く、移動手段は道路利用者が大半を占め、全体の約8割が自家用車利用である。



【通勤・通学流動】



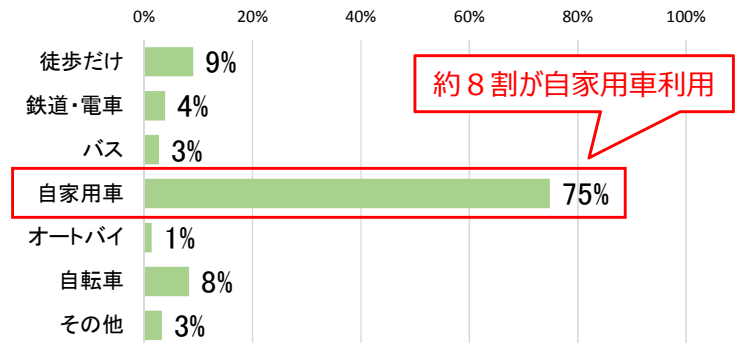
【長門市中心部のOD内訳 (上図のA-A断面)】



断面交通量：24,400台/日

※交通量推計結果 (H22センサスODベース)

【長門市居住者の通勤・通学手段】



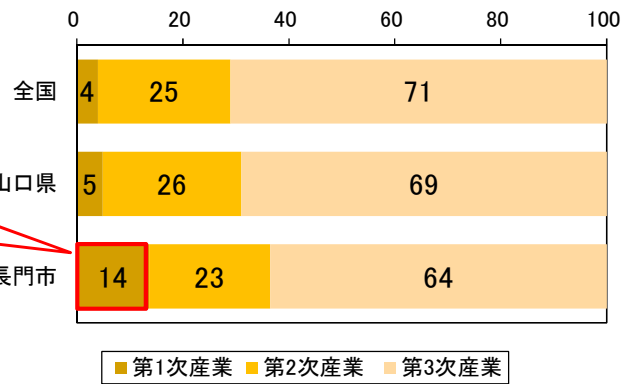
※複数の交通手段の場合があるため合計値は100%にならない
資料：H22国勢調査

2-4. 産業構造

- 就業者数の産業別構成比は、長門市は全国や山口県全体と比べて第1次産業の割合が高い。
- 長門市の産業別特化係数は水産業が高く山口県内において漁業総生産額も3位に位置している。また、農業総生産額は県内第4位である。
- 長門市は仙崎かまぼこに代表される食料品製造業が盛んであり、製造品出荷額(食料品製造業)が山口県内第2位。長門市の製造品出荷額の約5割を食料品製造業が占め、主要産業となっている。

【長門市における産業の状況】

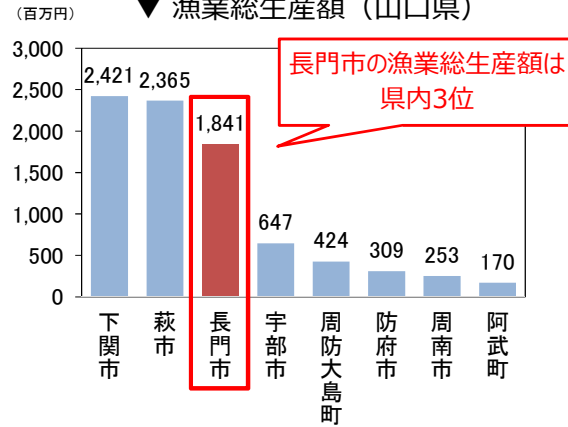
【就業者数の産業別構成比】



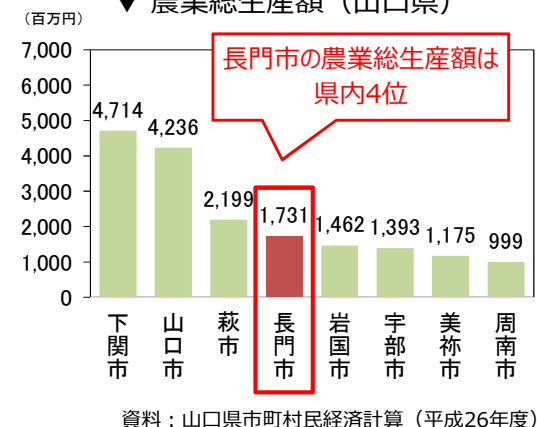
第1次産業の割合が高い

【主要産業の県内の位置づけ】

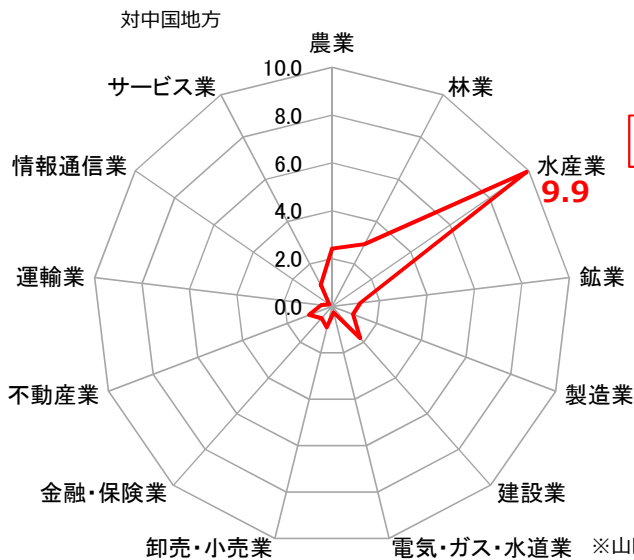
▼ 漁業総生産額（山口県）



▼ 農業総生産額（山口県）



【長門市における産業別特化係数】



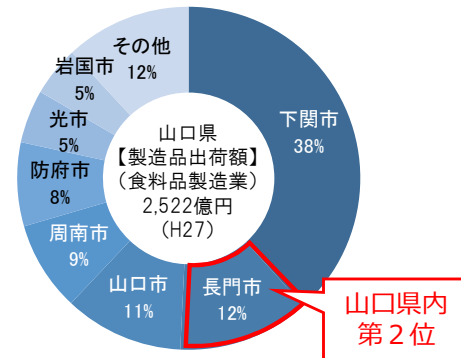
長門市は水産業が高い

特化係数
…地域のある産業がどれだけ特化しているかを見る係数で、次式で定義される

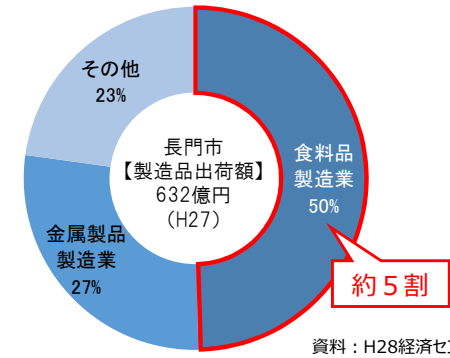
$$\text{特化係数} = \frac{\text{地域のA業種の構成比}}{\text{全体のA業種の構成比}}$$

※ここでは、全体を中国地方としている

▼ 食料品製造業の製造品出荷額の内訳（山口県）



▼ 製造品出荷額の内訳（長門市）



◆食料品製造業

- 「仙崎かまぼこ」に代表される水産加工業
- H27売上全国第9位であるF社をはじめ、9社が立地



▲ 仙崎かまぼこ（長門市HPより）

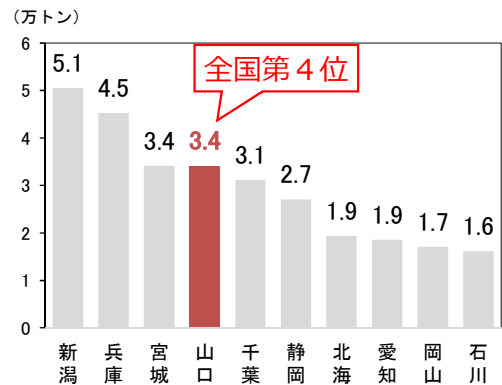
3. 地域の状況と課題

3-1. 水産加工業の状況と課題

○山口県は全国第4位のかまぼこ生産量であり、長門市は売上げ県内第1位(全国第9位)のF社をはじめ、多くのかまぼこ工場が立地する生産拠点である(山口県内第2位)。

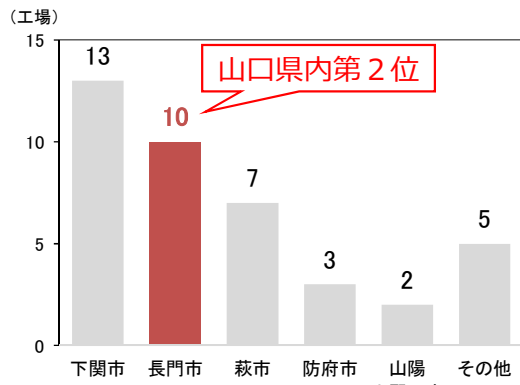
○加工品は、毎日、主に陸送で全国に向け出荷しているが、異常気象や事故等による通行規制により、製品等の納入時間の遅延リスクがあり企業活動に支障。輸送時間の短縮や通行規制が発生しない安定した輸送等が物流面での大きな課題。

【かまぼこ類の都道府県別生産量(H28)】



資料：水産加工統計調査

【山口県内の市町村別かまぼこ類工場数(H25)】



資料：H25漁業センサス

【水産加工品の入出荷の状況】

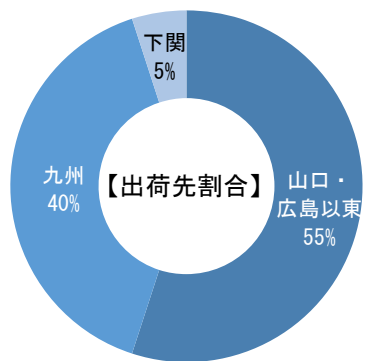


・平成27年売上全国第9位
(中国・四国・九州地方第1位)
・経済産業省の「地域未来牽引企業」に長門市内で唯一選定されている



▲ 焼き抜き蒲鉾の製造
(ながと物産合同会社パンフレットより)

【F社の出荷先の内訳】



資料：F社へのヒアリング結果 (H29.11)

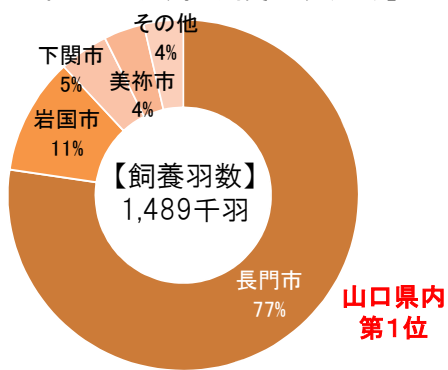
【水産加工業者の声】

(長門市の水産加工業者)
 ・現在、弊社で下関へ2~3便/日、九州へ12~15便/日出荷しているが、納品時間が決まってお道路事情で遅れるわけにはいかない。
 ・山陰道整備による商圏の拡大や、輸送時の危険度の軽減、定時性の確保が期待される。
 ・事故や通行規制等による遅延は悪印象を与えるため、定時性が確保できれば取引先との信頼性が上がる。

3-2. 畜産業の状況と課題

- 長門市は水産加工品の副産物を安価に飼料として利用できることより、古くから養鶏も盛んで県内第一位の飼育羽数を誇る。
- 近年は、地域ブランド戦略により「長州地どり」や「長州黒かしわ」等のブランド鶏の生産・高付加価値化に取り組んでおり、出荷数も年々増加傾向。
- 搬送経路には異常気象や事故等による通行規制が発生するなど、輸送時間の短縮や通行規制が発生しない安定した輸送等が物流面での課題。

【山口県内の肉用鶏の飼養羽数 (H29)】



資料：山口県畜産振興課「山口県畜産調査表」

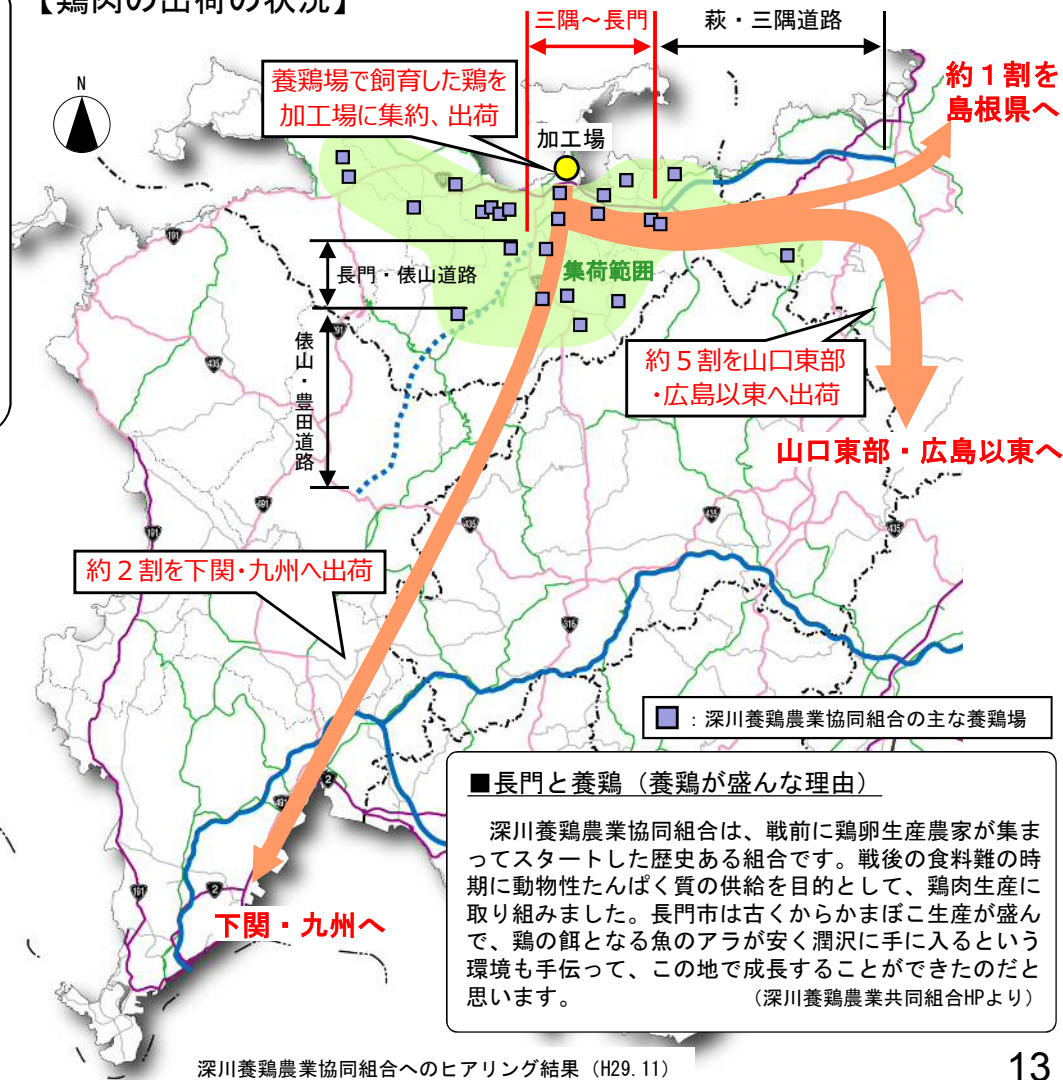
■長門の養鶏の取組

- 長州黒かしわのブランド力の向上
 - ・長州黒かしわの生産目標を定め、処理能力との調整を図る中で、安定供給が可能な増産体制を整備します。
 - 【生産目標（山口県下全体） 25年度 2.4万羽 → 29年度 8万羽】
 - ・長州黒かしわのブランド力を向上させ、高値で供給できるようにするための取組を進めます。
- 〈ブランド力向上のための取組〉
- ・ブランドイメージ作りのためのキャラクターの起用
 - ・スポーツ選手とタイアップした積極的なPR

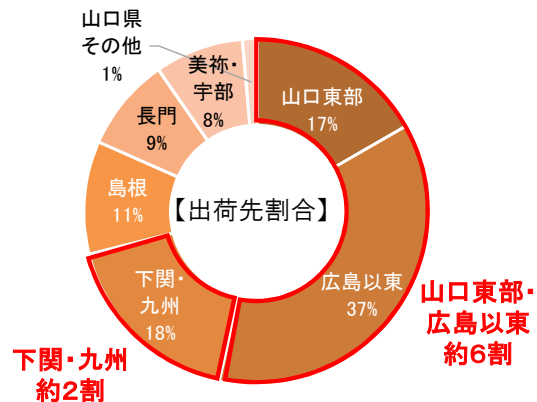


出典：長門市「ながと成長戦略行動計画 ～第2次改訂版～ (H28.10)」

【鶏肉の出荷の状況】

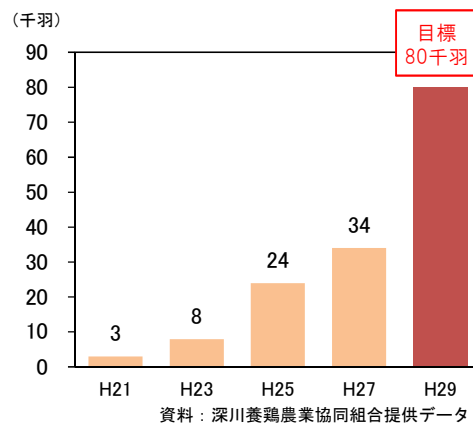


【深川養鶏農業協同組合の出荷先割合 (H29)】



資料：深川養鶏農業協同組合提供資料

【長州黒かしわの出荷羽数の推移】



【養鶏関係者の声】

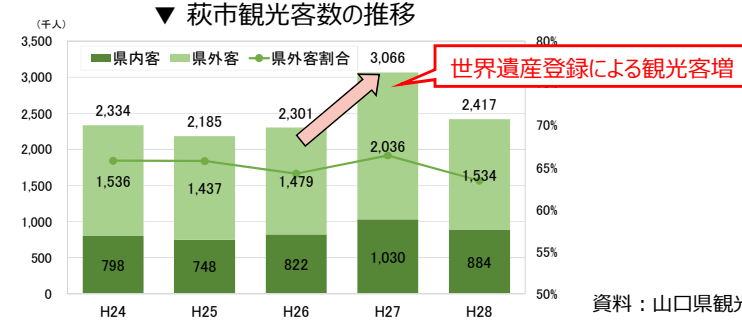
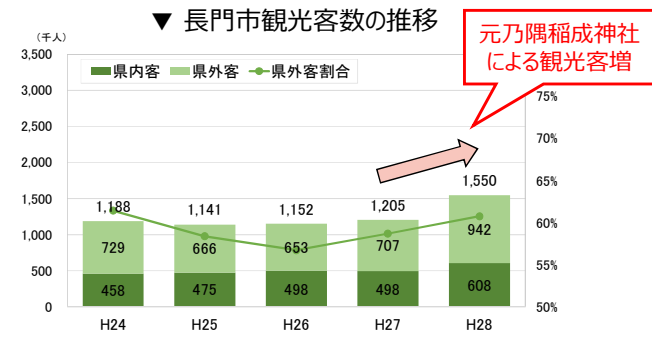
(深川養鶏農業協同組合)

- ・長門市から下関市へ商品を配送するため、移動時間の短縮は重要。また大雨や雪による通行止めのリスクを回避できる道路にしてほしい。

3-3. 観光の状況と課題

- 山口県北部は、平成27年7月に世界遺産登録された萩市の5遺産や、近年、観光客が急増している元乃隅稻成神社など、歴史文化資源や自然豊かな観光資源など優れた観光地が多い地域である。
- 下関市には九州方面から約140万人の観光客が訪れるが、高速道路ネットワークから取り残された結果、長門市では約40万人にとどまる等、県北部まで回遊しておらず広域的な観光周遊に課題がある。

【九州方面から山口県北部へ訪れる観光入込客数（H28）】

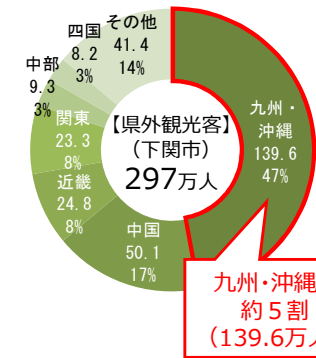


■観光連携への取り組み

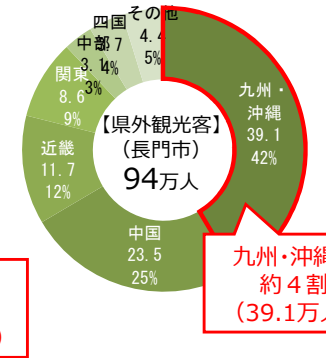
- 浜田市・益田市・萩市・長門市
- ・平成29年11月に4市長が会議
- ・観光客増に向けた連携を強化
- ・歴史や文化をテーマにした旅行プランを 策定するなど連携した広域観光振興策を協議



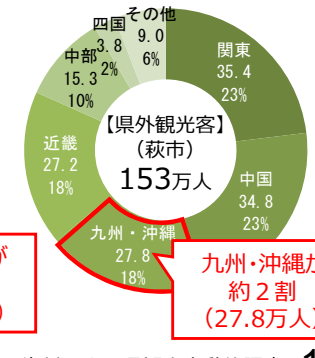
▼ 下関市県外観光客数の内訳



▼ 長門市県外観光客数の内訳

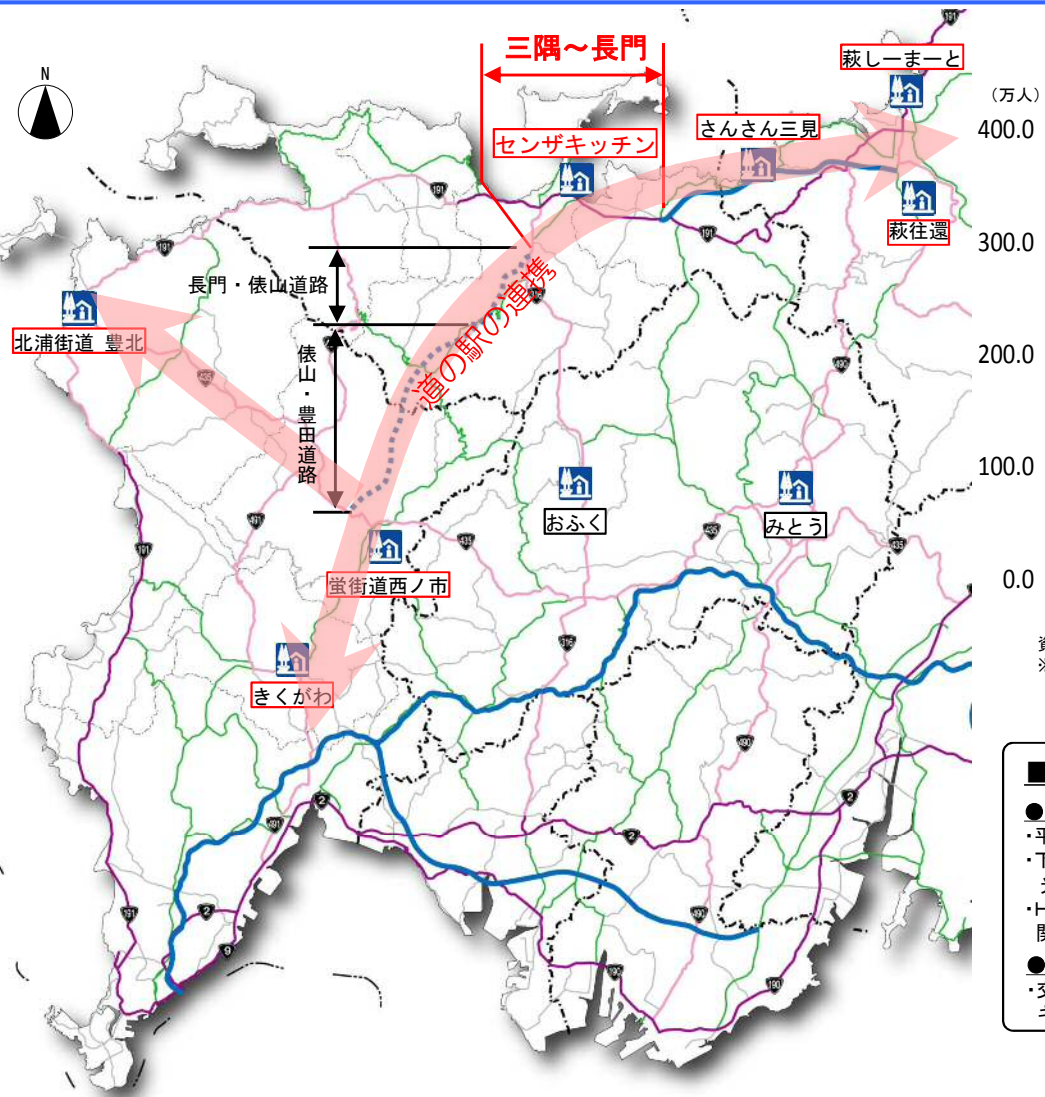


▼ 萩市県外観光客数の内訳

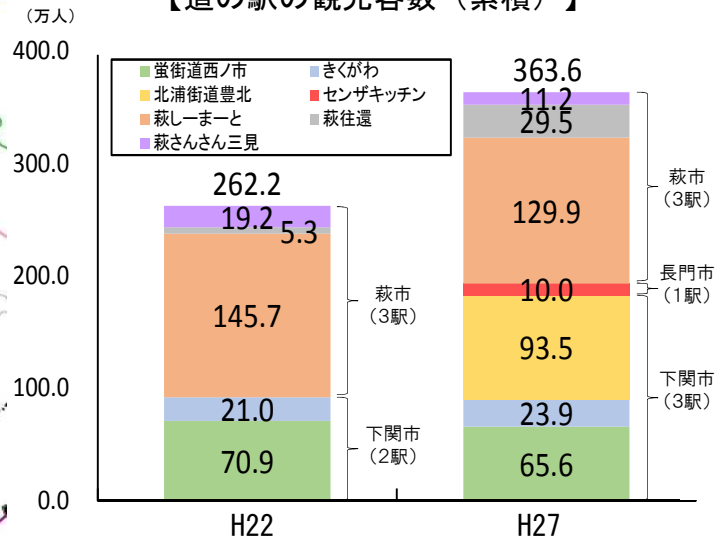


《参考》道の駅（センザキッチン）

- 現在、長門市中心部の仙崎地区に長門市初の道の駅「センザキッチン」を整備中。（平成30年4月オープン予定。平成29年10月に直売所・レストラン棟が先行し開業）
- 地域活性化の観点から、H29.10月に下関市・長門市両市長会談にて、道の駅の連携により交流人口の拡大を図ることを合意し、取組中。連携の促進に向けたネットワーク強化が求められる。
- また、「ながと成長戦略行動計画（H28.10）」「第2次長門市観光基本計画（H29.3）」においても、地場産業の活性化や交流の拠点に道の駅「センザキッチン」を位置付け、地域活性化に取り組んでいる。



【道の駅の観光客数（累積）】



資料：山口県観光客動態調査
※センザキッチンはオープン41日目の速報値、北浦街道豊北は平成24年3月開業



オープン41日目で
来場者10万人を突破

- 【道の駅センザキッチン施設概要】
- 配置施設：農林水産物等直売所、レストラン、休憩所、情報発信施設、長門おもちゃ美術館
 - 特産品：かまぼこ・干物等の加工品・鮮魚 野菜果物・惣菜

- 【第2次長門市観光基本計画（H29.3）】
- ・仙崎地区交流拠点施設「センザキッチン」を交流の拠点として、観光情報や道路情報等のワンストップ機能を整備。

観光連携への取り組み

- 長門市・下関市の連携
 - ・平成29年10月に両市長が会談
 - ・下関市の角島や長門市の元乃隅稲成神社といった両市の観光地について連携してPRを強化
 - ・H29.10にオープンした長門市初の道の駅「センザキッチン」と下関市の3つの道の駅が連携することで交流人口の拡大を図る
- スタンプラリーの実施
 - ・交流事業の一環として、下関市にある3つの道の駅と「センザキッチン」による下関市・長門市周遊スタンプラリーを実施中

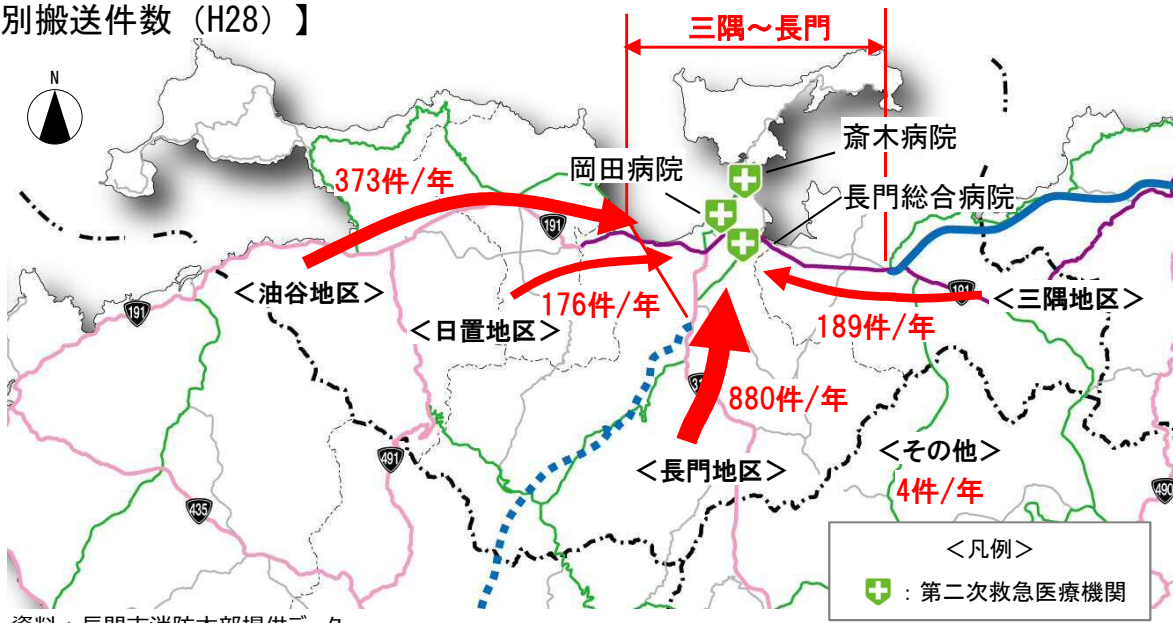


写真：市報しものせき（2017年12月）

3-4. 医療の状況と課題

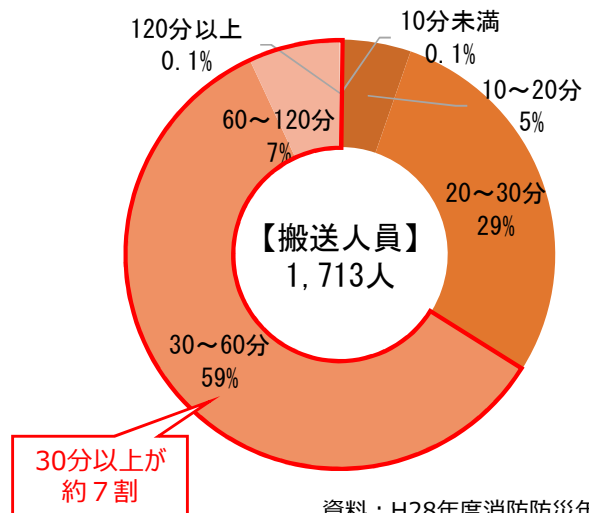
- 山口県北部には第3次救急医療機関がなく、県南部にある第3次救急医療機関への搬送は60分以上の時間を要する。
- 第2次救急医療機関が立地する長門市中心部に救急搬送が集中（年間に約1,600件の救急搬送）するが、救急搬送において、収容までに約7割が30分以上を要している。
- 今後、高齢化が進展し搬送件数の増加が想定される中、救命率向上や患者の負担軽減のために、救急医療活動における円滑化・迅速化が課題。

【地区別搬送件数（H28）】



資料：長門市消防本部提供データ

【長門市の収容所要時間割合（H27年中）】

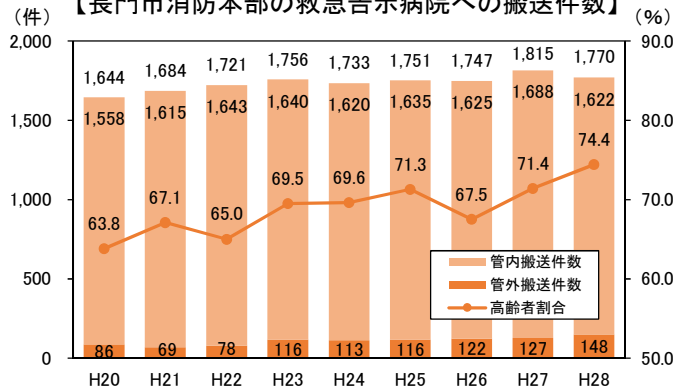


資料：H28年度消防防災年報（山口県）
 ※管外搬送を除く



▲ 長門総合病院

【長門市消防本部の救急告示病院への搬送件数】



資料：長門市消防本部提供データ
 ※高齢者割合は管内・管外両方含む

【長門消防本部へのヒアリング結果】

- ・国道191号や国道316号のほとんどが片側一車線で幅員が狭いことから緊急走行で追い抜きを行う際、事故の危険性が高まるとともに速達性を確保することができない。

※関係者ヒアリング結果（H30.2）

4. 道路の状況と課題

4-1. 交通事故の状況と課題

- 死傷事故件数は減少傾向にあるものの、対象区間で年間約24件の死傷事故が発生しており、全国平均死傷事故率(73.7件/億台キロ)を上回る箇所が11箇所存在する。
- 信号交差点の多い市街地部、郊外の単路部ともに、信号交差点や沿線の施設や農地への出入りに起因すると思われる追突事故の割合が全国平均と比べ高い。

【三隅～長門間の事故による通行規制発生状況(H19～H28)】

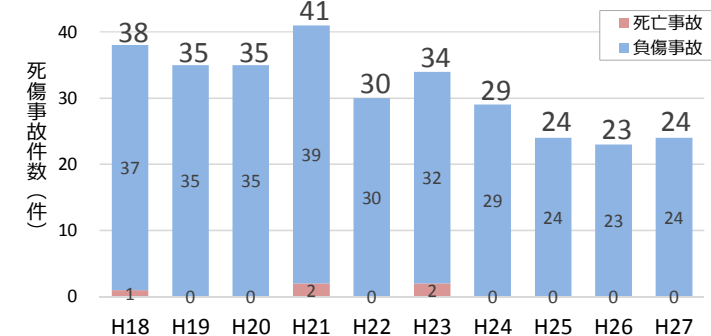


▼三隅～長門間における事故による通行止め発生時間

年度	全面通行止め		通行規制	
	件数	通行止め時間	件数	通行規制時間
H19	-	-	1	26分
H20	1	31分	-	-
H21	-	-	1	50分
H22	-	-	3	4時間2分
H23	-	-	1	1時間30分
H24	2	43分	2	3時間29分
H25	-	-	1	38分
H26	-	-	3	2時間12分
H27	1	1時間37分	1	52分
H28	-	-	5	6時間22分
合計	4	2時間51分	18	20時間21分

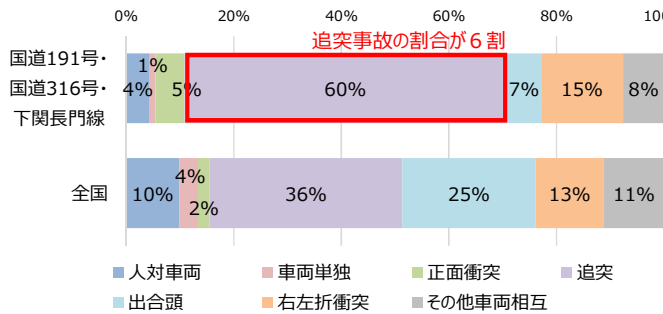
※過去10年間 (H19～H28) の集計結果

▼三隅～長門間における死傷事故件数の推移

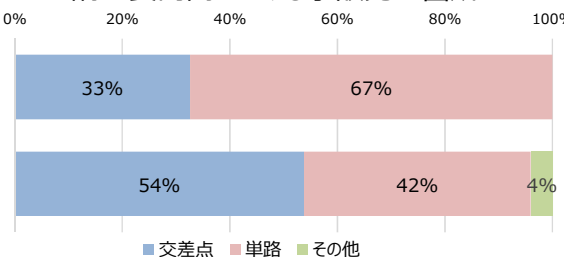


資料：ITARDAデータ (H18-H27)

▼三隅～長門間における事故類型



▼三隅～長門間における事故発生箇所



資料：ITARDAデータ (H24～H27)
 全国：平成27年における交通事故の発生状況 (警察庁交通局)

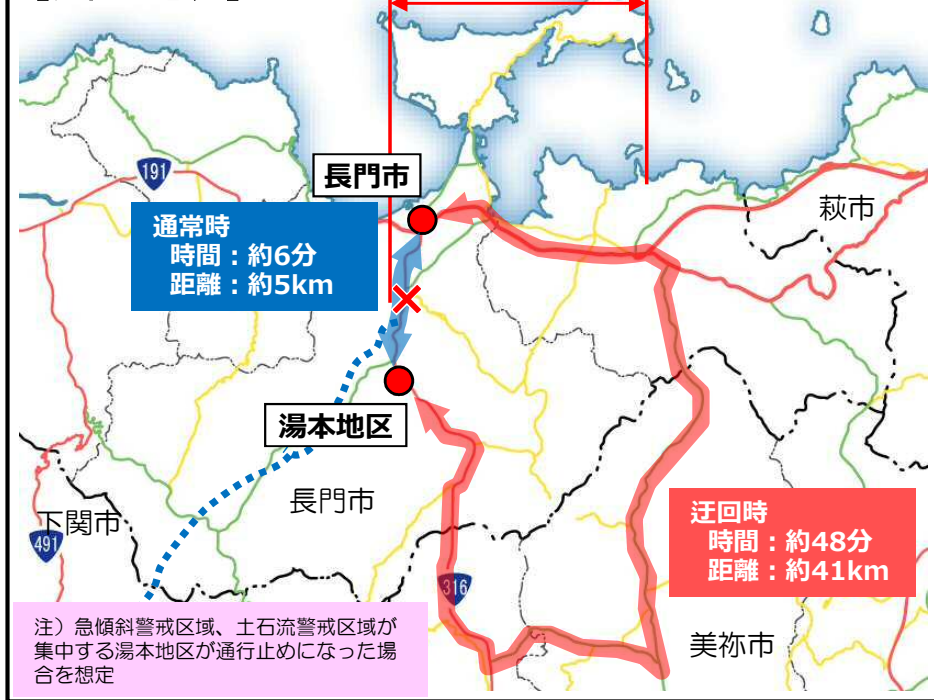
4-2. 災害の状況と課題

- 三隅～長門間の国道191号、(主)下関長門線、国道316号のいずれの路線にも、土砂災害警戒区域が多数存在。また、長門市街地及び旧三隅町中心部に洪水時浸水想定区域が存在しており、防災上脆弱な箇所が集中。
- 長門市内に向かう道路網の多重性は低く、緊急輸送道路に指定される国道191号や国道316号の通行止めが発生した場合、救命・救急活動や緊急活動に支障をきたすことが懸念される。

【三隅～長門間における災害ハザード】



【迂回の想定】



▲ 国道191号・316号における被災状況
(冠水時間：2時間)
(H27.8.25 正明市交差点)



▲ 国道316号における被災状況
(通行止め：4日間)
(H22.7.14長門市湯本四ノ瀬)

※防災拠点：H27山口県緊急輸送道路ネットワーク計画

5. 政策目標の設定

5-1. 課題の整理

■山陰道（三隅～長門）の地域の課題と要因の整理

	現状と課題	道路・ネットワークの要因
産業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主要産業である農水産品の輸送において、通行止めや事故等による納入時間の遅延等により企業活動の支障がある。 ・ 輸送時間の短縮や通行規制が発生しない安定した輸送等が物流面での大きな課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通行規制や事故等により信頼性、定時性が低下。 ・ 速達性が不十分である。
観光	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高速道路ネットワークから取り残された結果、九州方面からの観光客が県北部まで回遊しておらず、広域的な観光周遊に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光地及び拠点を結ぶネットワークが不十分である。
医療	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長門市では救急搬送において約7割が収容までに30分以上を要しており、救急搬送時間の短縮が課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 救急搬送を短縮する速達性、信頼性が高い道路が不十分である。
安全	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対象区間には、全国平均死傷事故率（73.7件/億台キロ）を上回る箇所が存在する。 ・ 全国平均に比べ追突事故の発生割合が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市街地部は信号交差点が連続。郊外の単路部は沿道農地等への出入り等により事故発生の危険がある。
防災	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主要幹線道路沿いに土砂災害警戒区域や洪水時浸水想定区域が存在しており、防災上脆弱である。 ・ 長門市内に向かう道路網の多重性は低く、緊急輸送道路に指定される国道191号等の通行止めが発生した場合、救命・救急活動や緊急活動に支障をきたすことが懸念される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災上脆弱であり、また災害発生時における迂回ルートがない。

5-2. 地域の将来像

項目	地域の将来像
①産業	<ul style="list-style-type: none"> ○世界に広がる産業力強化、元気な農林水産業育成 <元気創出やまぐち！未来開拓チャレンジプラン> (H27.3) ○農林業の振興、水産業の振興、商工業の振興、産業連携による活性化促進、地域製品の販路拡大 <第2次長門市総合計画> (H29.3) ○産業の活性化支える都市づくり <長門市都市計画マスタープラン> (H27.3) ○地域資産の活用による高付加価値型商品・サービスの開発、大都市圏への販路開拓 <ながと成長戦略行動計画> (H28.10)
②観光	<ul style="list-style-type: none"> ○山口の魅力発信・観光力強化 <元気創出やまぐち！未来開拓チャレンジプラン> (H27.3) ○地域の「稼ぐ力」を引き出す観光まちづくり、体験・反復型観光の推進、滞在・周遊型観光の推進 <第2次長門市総合計画> (H29.3) ○観光資産の魅力創出と連携 <ながと成長戦略行動計画> (H28.10)
③医療	<ul style="list-style-type: none"> ○安心の保健・医療・介護充実 <元気創出やまぐち！未来開拓チャレンジプラン> (H27.3) ○医療体制の充実、消防・救急体制の強化 <第2次長門市総合計画> (H29.3)
④安全	<ul style="list-style-type: none"> ○日々の暮らし安心・安全確保 <元気創出やまぐち！未来開拓チャレンジプラン> (H27.3) ○交通安全対策の充実 <第2次長門市総合計画> (H29.3) ○安全で豊かな暮らしを支える都市づくり <長門市都市計画マスタープラン> (H27.3)
⑤防災	<ul style="list-style-type: none"> ○災害に強い県づくり <元気創出やまぐち！未来開拓チャレンジプラン> (H27.3) ○自然災害防止対策の強化 <第2次長門市総合計画> (H29.3) ○災害に強い都市づくりの推進 <長門市都市計画マスタープラン> (H27.3)

5-2. 地域の将来像（長門市のまちづくり）

- 長門市都市計画マスタープランにおいて、まちづくりの方針が整理されている。
- 特に将来の都市像や将来地域構造の実現に向け、中心拠点や地域拠点などの拠点整備の方針や、地域の浮揚のために必要不可欠な施策として、地域交通網の整備推進が位置づけられている。

長門市のまちづくり方針

1. 拠点整備の方針
2. 土地利用の方針
3. 交通体系整備の方針
4. 自然環境の保全・公園緑地の整備方針
5. 下水道の整備方針
6. その他の施設の整備方針
7. 都市防災の方針

【長門市の部門別まちづくりの方針（一部抜粋）】

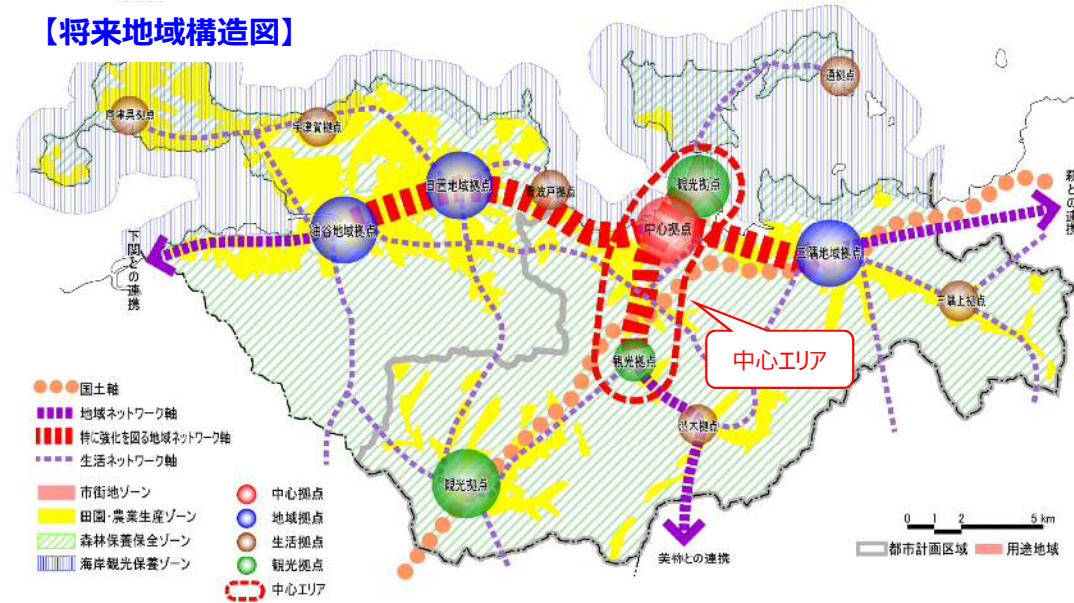
○ 拠点整備の方針

- 中心拠点
- 観光拠点
- 中心エリア
中心エリアは、行政、商業業務、交通、文化などの広域的な都市機能が集積するとともに、魅力ある観光拠点と一体となって、多くの市民や観光客などにとって快適で魅力あるエリアとしての地域づくりを目指す。
現在の当エリアは、それぞれの機能がばらばらに立地し単一目的でしか訪れることがない傾向があるが、これを、[温泉～街なかから歴史・文化と結びつけること](#)によって、[連続して様々な体験を可能にする地域づくり](#)を図る。
- 地域拠点
- 生活拠点

○ 交通体系整備の方針

- 交通体系整備の基本方針
地域のネットワーク軸の形成は、道路、鉄道、及びその他の公共交通網の整備により実現されるものである。したがって、[道路網の整備と鉄道、バス、タクシーなど総合的な交通体系の整備](#)により、ネットワークの強化を図る。
- 地域交通網の整備方針
山陰道については、萩～三隅間が開通し、現在長門～俵山間について建設が行われている。高規格道路網は、本市と隣接都市や国土幹線との接続により、[地域間の交流を活性化し、市民にとっての雇用、通学、買物、観光など多様な生活行動の選択肢を大きく拡大させる](#)ものであり、[地域の浮揚のためにも整備の必要性が高く、引き続き山陰道の全線の開通整備](#)を図る。
本市の骨格的な幹線である[国道191号と国道316号](#)については、[隣接都市との交流、日常生活行動、産業活動、観光流動、災害時の人や物の輸送など様々な都市活動を支えて](#)おり、円滑な交通流動を実現するため幅員、線形、歩道の確保など必要な改良整備を図る。
- 都市計画道路の整備方針
- 公共交通網の整備方針

【将来地域構造図】



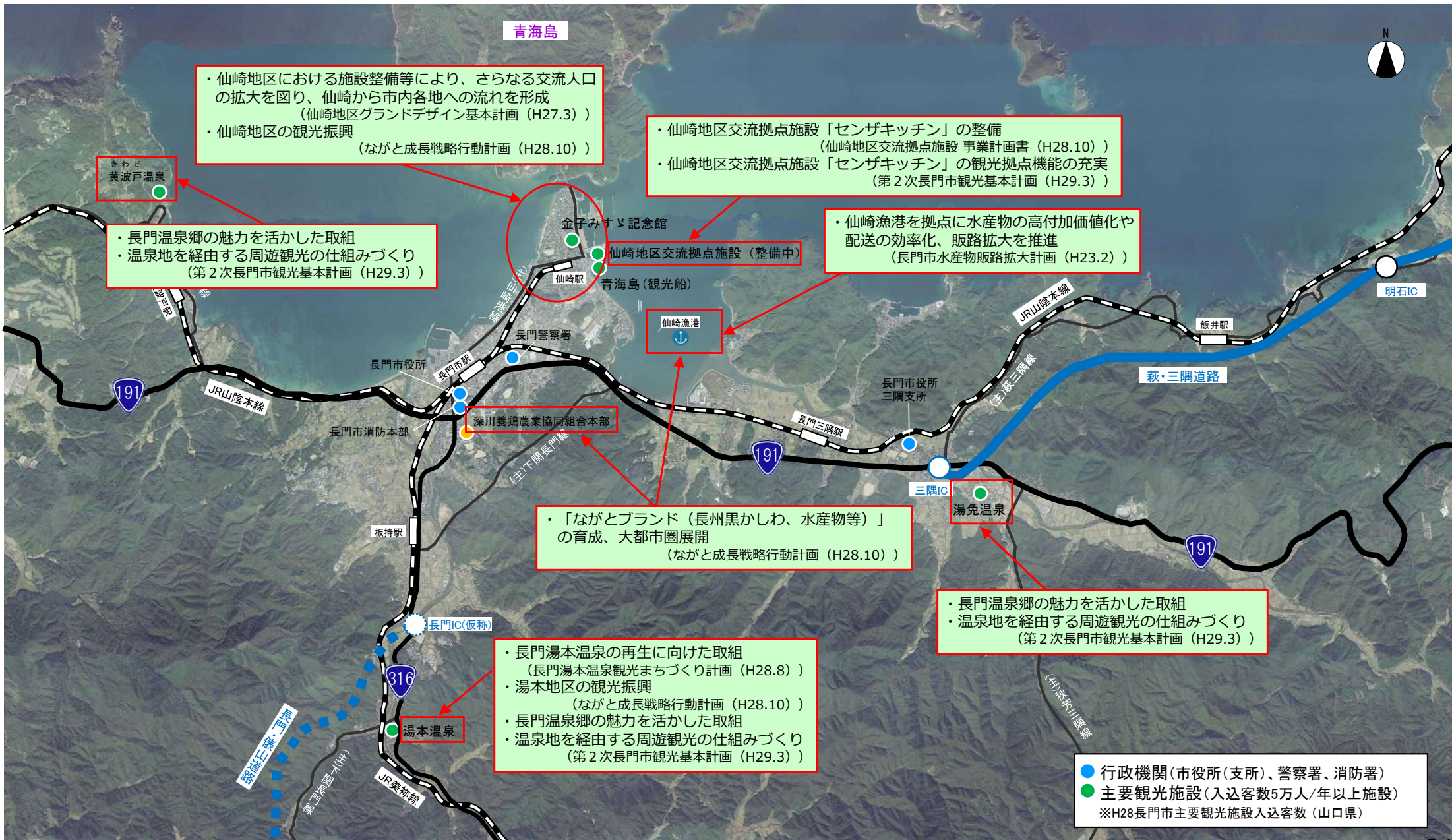
【交通体系整備方針図】



資料：長門市都市計画マスタープラン（H27.3）

《参考》長門市の地域活性化への取組

○長門市では様々な地域活性化への取組を実施中。



5-3. 政策目標の案

◇ 地域の課題及び沿線自治体の総合計画を踏まえ、当該地域の政策目標を以下に設定

地域や道路の状況や課題

地域の将来像



1. 産業の活性化
2. 観光振興の促進
3. 救急医療の速達性・確実性の確保
4. 交通安全の確保
5. 災害時に強い道路ネットワークの確保

◇ 対策案の検討(案)

【産業の活性化】
農水産業等の地域産業の活動を支援する道路整備とは

【観光関連】
下関と一帯となった、九州からの観光客誘致や観光周遊行動を促す道路整備とは

【医療関連】
高次医療機関への速達性・確実性を向上させる道路整備とは

【安全・安心関連】
安全・安心に快適な走行を確保できる道路整備とは

【防災関連】
災害等による通行止めにおける社会経済活動や日常生活への影響を最小限に留め、住民の生活や地域の産業を守る道路整備とは



**当該地域の高規格幹線道路の整備方針を検討
(既存の道路ストックの活用も含め、複数の対策案を設定し検討)**

5-3. 政策目標の案

政策目標

産業の活性化

・農水産品の輸送において、通行止めや事故等による納入時間の遅延等により企業活動の支障がある。
 ・輸送時間の短縮や通行規制が発生しない安定した輸送等が物流面での大きな課題である。

観光振興の促進

・高速道路が繋がっていないため、九州方面からの観光客が県北部まで回遊しておらず、広域的な観光周遊に課題がある。

救急医療の速達性・確実性の確保

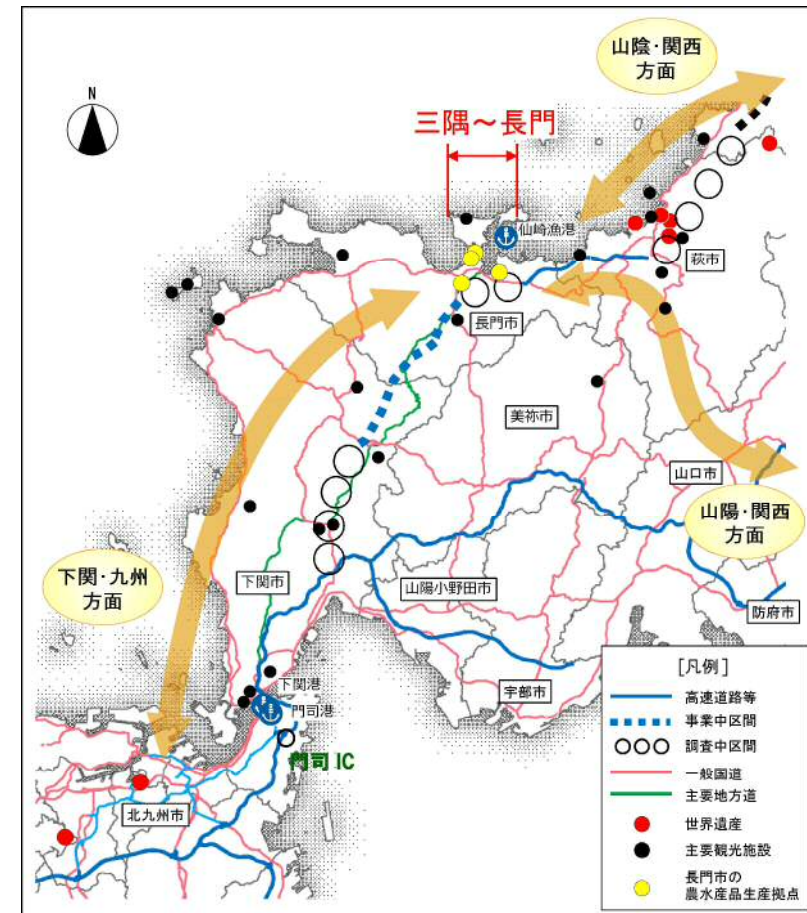
・長門市では救急搬送において約7割が収容までに30分以上を要しており救急搬送時間の短縮が課題である。

交通安全の確保

・対象区間には、全国平均死傷事故率(73.7件/億台キロ)を上回る箇所が存在する。
 ・全国平均に比べ、追突事故の割合が多い。

災害時に強い道路ネットワークの確保

・主要幹線道路沿いに土砂災害警戒区域や洪水時浸水想定区域が存在しており、防災上脆弱である。
 ・長門市内に向かう道路網の多重性は低い。



6. 意見聴取方法

6-1. 意見聴取の基本方針・手法・対象者

■意見聴取の基本方針

把握する意見
三隅～長門間の道路や交通の問題点や解決すべき課題
地域の改善すべき課題

■アンケート配布範囲 ※配布数は地域住民アンケート



■意見聴取の方法と対象者

対象者・実施方法		
アンケート	【地域住民】住民へ郵送配布	約 33,300 部
	長門市（長門地区、三隅地区、日置地区、油谷地区）	約 16,200 部
	萩市（萩地区）	約 17,100 部
	【企業及び団体】山口県内外の関係企業へ郵送配布	約 1,500 部
	県内：企業・事業所	約 1,000 部
	県外：トラック協会等	約 500 部
	【道路利用者等】山口県内の道の駅及び観光施設に常設、WEB調査	
ヒアリング	【関係自治体及び団体】山口県・関係市町・団体へ意見照会	
	自治体：山口県、長門市、萩市 各団体：トラック協会、商工会議所、警察署、消防署、農協等	

6-2. 各手法の調査項目と活用方針

■意見聴取の方法目的

把握する意見	アンケート	ヒアリング	備考
交通課題 及び道路課題	三隅～長門間における交通課題及び道路課題について、地域住民等の概ねの考えを把握する。	アンケートでは把握できない具体的な交通課題及び道路課題、道路の役割について把握する。	第1回
地域の課題	交通課題及び道路課題が招く改善すべき地域の課題について、地域住民等の概ねの考えを把握する。	アンケートでは把握できない具体的な地域の課題や地域の目指すべき将来像について把握する。	
その他自由意見	その他、道路に関する課題や意見を幅広く聴取する。		
比較ルート帯案 (複数案)に対する 意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ルート帯選定にあたり、地域住民等が概ね重要視する視点を把握する。 ・インターチェンジ設置位置（配置計画）において、地域住民等が概ね重要視する視点を把握する。 	ルート帯やインターチェンジ設置位置について、アンケートでは把握できない具体的な重要視する視点を把握する。	今後
その他の自由意見	その他、各区間に関する意見を幅広く聴取し、計画策定に反映する。		
回答者の属性 利用状況	回答結果の差異に対して各分類で整理し、分析する。	—	共通

6-3. アンケート調査

■ 計画概要

① 調査概要

- 本調査の主旨、調査対象箇所について説明

山陰道(三隅～長門)の 道路の改良の計画に関するアンケート

山陰道は、鳥取県鳥取市を起点とし、島根県を経由し、山口県下関市に至る総延長380kmの高規格幹線道路であり、山陰地方の地域経済の活性化、観光の振興、災害に強い道路ネットワークの確保を主な目的として整備を進めています。今回のアンケートは、山陰道(三隅～長門)間の改良計画の検討を進めるにあたり、地域の皆さまのご意見を伺い、生活に役立つ道路の検討をさせていただきたいと考えております。アンケートにご協力いただきますようお願いいたします。

また、結果につきましては、集計してホームページ等で公表させていただきます。

※高規格幹線道路とは、全国的な自動車交通網を形成する自動車専用道路のことです。

■ この調査の対象は、三隅～長門の区間です。



今回のアンケートへの回答は、インターネットでも回答可能です。また山陰道の上位計画における位置づけや地域・交通の状況と課題について、国土交通省ホームページでご覧いただけます。

国土交通省ホームページ
<http://www.cgr.mlit.go.jp/yamaguchi/sanindo/gaiyou.html>

二次元コード



凡 例	
	開通区間
	事業中区間
	未事業区間

※本アンケートでお答えいただいた情報は、厳重に管理するとともに、お答えいただいたご意見については今後の道路計画を検討する際の貴重なご意見として活用させていただきます。

(H29.4現在の道路網)

■ 前回のアンケート結果

② 山陰道(三隅～小月)のアンケート結果概要

- 山陰道(三隅～小月)のアンケート結果概要について説明

前回の山陰道(三隅～小月)のアンケート結果 をお知らせします

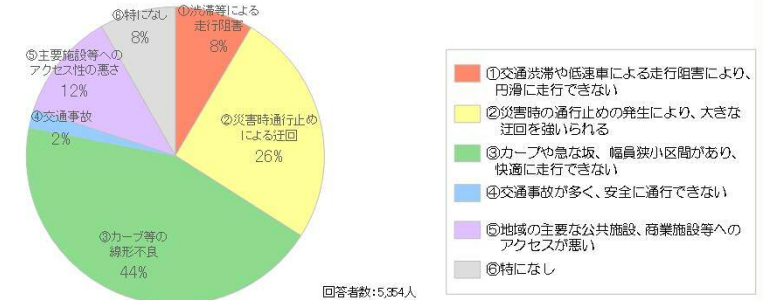
前回、平成27年2月～3月に実施した長門市～下関市間のアンケートでは多くの方からご回答をいただき、ありがとうございました。長門市～下関市間の道路交通状況の課題として、意識が高かったものは「災害時の通行止めの発生により、大きな迂回を強いられる」や「カーブや急な坂、幅員狭小区間があり、快適に走行できない」でした。



■ 平成27年2月～3月に、みなさまよりお聴きしたご意見の結果です。

<質問> 自動車を利用される場合において、長門市～下関市間の道路交通状況で課題と思われる項目を下記の①～⑤から最大2つまで選んでください。
 (※「該当するものがない場合」は、「⑥特になし」を選んでください。)

<住民(長門市、下関市(旧菊川町、旧豊田町)下関市小月地区、旧美祿市)の方、企業、道路利用者などのみなさまからのご回答>



～その他、みなさまからのご意見の一例～

- 北浦経由で下関に向うと、追い越し車線が少ない道路が狭い為追い越しづらいため、時間がかかりすぎる。
- 長門から徳山へ運動しているが、災害により迂回したことも何回もあり、不便に感じている。
- 長門市内～徳山間で冬期積雪による通行止など幹線道路としての用をなさないことがある
- 三隅IC～長門市街地までは交通量が多く、特に三隅IC～仙崎小浜交差点までは交通量が多く、事故が多い。
- 湯本温泉は大切ですので交通アクセスを良くして誰でもわかる様にしたい。
- 山陰道は、山口県が一番遅れていると思うし、観光しても長門市へのアクセスが一番悪いと言う声が多く聞かれます。早く山陰道開通を望みます。
- 萩・三隅道路のように70km以上で走れるような路線を増やしてほしい。
- 緊急で病院に行かなければならない時に、整備された道がないと困る。
- 交通量が少ないので道路を作る必要はない。

6-3. アンケート調査

■三隅～長門間の現状

③周辺地域と道路の現状

● 対象地域周辺の道路課題、地域の課題について説明

周辺地域と道路の現状



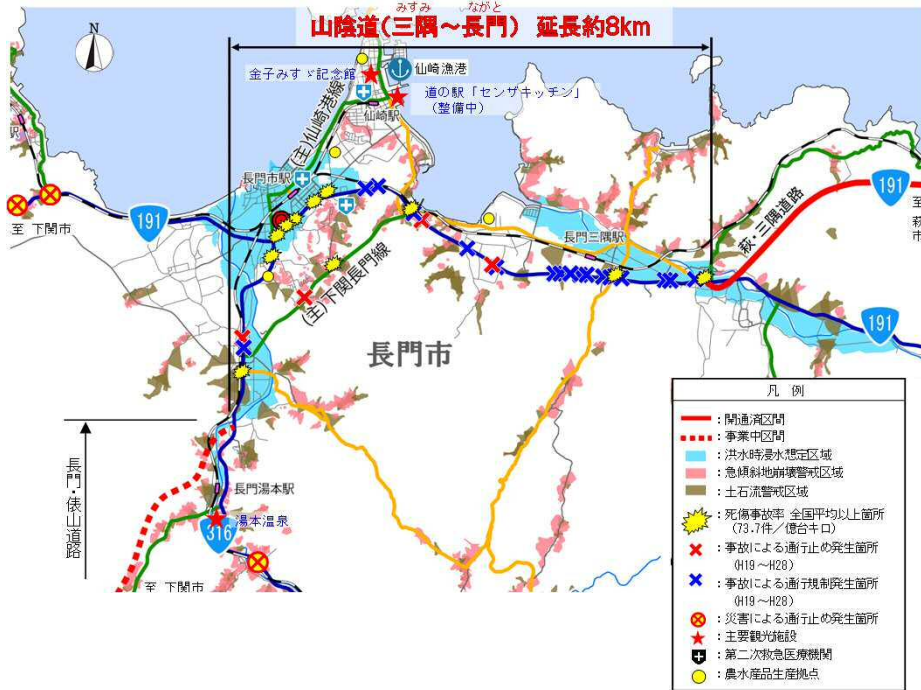
▲ 国道316号における事故発生状況



▲ 国道191号・316号における被災状況
(冠水時間：2時間)
(H27.8.25 正明市交差点)



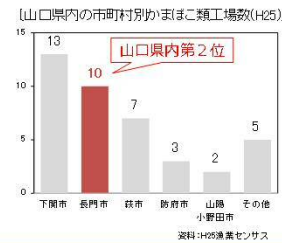
▲ 国道316号における被災状況
(通行止め：4日間)
(H22.7.14長門市湯本四ノ瀬)



周辺地域と道路の現状

産業の状況

- ▶ 長門市には、多くのかまぼこ工場が立地する生産拠点である(山口県内第2位)。
- ▶ 長門市は、古くから養鶏も盛んで県内第一位の飼養羽数を誇り、近年は、地域ブランド戦略により「長州地どり」や「長州黒かしわ」等のブランド鶏の生産・高付加価値化に取り組んでおり、出荷数も年々増加傾向。
- ▶ 農水産品の輸送において、通行止めや事故等による納入時間の遅延等により企業活動の支障がある。
- ▶ 輸送時間の短縮や通行規制が発生しない安定した輸送等が物流面での大きな課題である。



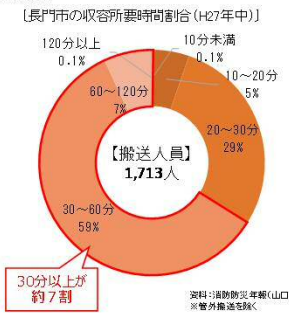
観光の状況

- ▶ 高速道路がつながっていないため、九州方面からの観光客が県北部まで回遊しておらず、広域的な観光周遊に課題がある。



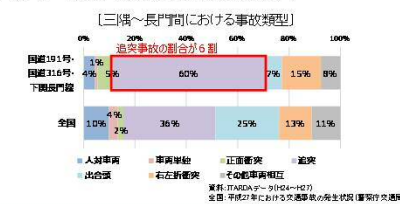
医療の状況

- ▶ 長門市では救急搬送において約7割が収容までに30分以上を要しており、救急搬送時間の短縮が課題である。



交通事故の状況

- ▶ 対象区間には、全国平均死傷事故率(73.7件/億台キロ)を上回る箇所が多数存在。
- ▶ 全国平均に比べ、追突事故の割合が多い。



災害時の懸念

- ▶ 主要幹線道路沿い(土石砂災害警戒区域や洪水時浸水想定区域が存在しており、防災上脆弱である)。
- ▶ 長門市内に向かう道路網の多重性は低い。



▲ 国道191号・316号における被災状況

6-3. アンケート調査

④質問内容・回答欄

【 アンケート質問票 】 （回答はがきに記載してください）

質問1 当該地域には、どのような課題があると思いますか？
以下の①～⑤について、5段階評価で当てはまる a～e. に○をつけてください。

<5段階評価> a. そう思う b. ややそう思う c. どちらとも言えない d. あまりそう思わない e. そう思わない

- ① 通行止めや事故などにより物流活動に支障がある
- ② 観光地間の移動に時間がかかり周遊性に課題がある
- ③ 医療機関への移動や救急搬送において円滑性・迅速性に課題がある
- ④ 交通事故が発生しやすく危険である
- ⑤ 異常気象時等に土砂災害や浸水等が発生し危険である

質問2 地域の将来も踏まえ、対象区間(三隅～長門)の道路に求める役割や機能は何ですか？
以下の①～⑤の機能について、5段階評価で当てはまる a～e. に○をつけてください。

<5段階評価> a. そう思う b. ややそう思う c. どちらとも言えない d. あまりそう思わない e. そう思わない

- ① 地域産業の拠点からの円滑な広域物流が確保されること
- ② 高速道路ネットワークの連絡により広域な周遊観光が出来ること
- ③ 地域と医療拠点へのアクセス性が向上すること
- ④ 安全・快適に走行できること
- ⑤ 異常気象時に安全・安心に機能する道路ネットワークが確保されること

質問3 山陰道が利用しやすい道路となるためのアイデアや、山陰道を整備する上で配慮した方が良くと思うことについて、考えられることをご自由にお書きください。

質問4 その他、この区間の道路整備の必要性や今後の方向性などについて、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

質問は以上です。ありがとうございました。

※回答はがき(おもて面)もへ回答ください。

▶▶▶ 回答はがき(うら面) ▶▶▶

質問1をお答えください ①～⑤の項目それぞれで該当する英文字1つに○をつけてください。					
項目	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない
①	a	b	c	d	e
②	a	b	c	d	e
③	a	b	c	d	e
④	a	b	c	d	e
⑤	a	b	c	d	e
上記①～⑤の他に、課題と感じていることがありましたら、ご記入ください。 <自由回答>					
質問2をお答えください ①～⑤の項目それぞれで該当する英文字1つに○をつけてください。					
項目	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない
①	a	b	c	d	e
②	a	b	c	d	e
③	a	b	c	d	e
④	a	b	c	d	e
⑤	a	b	c	d	e
質問3をお答えください <自由回答> ・利用しやすい道路となるためのアイデアや配慮した方が良くとおもうこと					
質問4をお答えください <自由回答> ・この区間の道路整備の必要性や今後の方向性について思うこと					

■回答方法 回答は、右記の返信用はがきに記入し、切り取って郵便ポストに投函してください。

■締め切り 平成**年**月**日(**)までに投函願います。

6-3. アンケート調査

⑤手続きの流れ・はがき表面

定形郵便物

料金受取人払郵便

7 4 7 - 8 7 9 0

防府局 承認

山口県防府市国衙1-10-20

国土交通省 中国地方整備局
山口河川国道事務所

計画課 行

差出有効期間
平成〇年〇月〇日
(切手不要)

仮

◆あなた自身のことについて【記入または該当する番号に○をつけてください】

住所 〒 - ※番地不要

県 市・郡 町

性別 ① 男性 ② 女性 年齢 歳代

◆「三隅～長門間」の国道191号、国道316号、及び下関長門線(以下「対象路線」)の普段の自動車利用状況について【該当する番号に○をつけてください。】

Q. 現在の対象路線を利用する頻度を教えてください。

① ほぼ毎日 ② 週2～3回程度 ③ 月2～3回程度
→①、②、③を選ばれた方は《下段》の質問へ

④ ほとんど利用しない ⑤ 利用したことがない
→④、⑤を選ばれた方は《裏面》の質問へ

Q. 対象路線を利用する**主な目的**を1つ教えてください。

① 通勤 ② 通学 ③ 家事・買い物 ④ 仕事
⑤ 観光・レジャー ⑥ 通院 ⑦ その他()

Q. 上記利用目的の**主な目的地**を1つ教えてください。

① 萩市 ② 長門市 (旧長門市) ③ 長門市 (旧三隅町)
④ 長門市 (旧日置町) ⑤ 長門市 (旧油谷町) ⑥ 美祢市
⑦ 下関市 ⑧ その他 ()

注

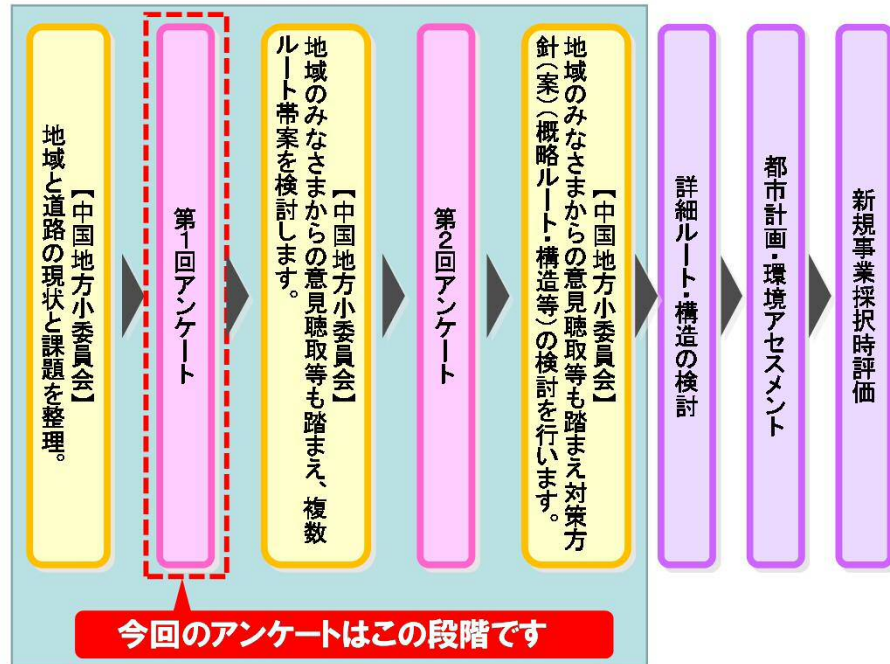
《裏面》にも質問があります→

※回答はがき(うら面)のアンケート設問にもご回答ください。

「回答はがき(おもて面)」

今後の手続きの流れ

計画段階評価



※本アンケートでお答えいただいた個人情報は、厳重に管理するとともに、お答えいただいたご意見については今後の道路計画を検討する際の貴重なご意見として活用させていただきます。

アンケートのお問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局
山口河川国道事務所
担当: 計画課
☎ 0835-22-1819



安心して快適な
地域づくりのために
みなさまのご意見をお待ちしております。